

[okazaki_125]

活動タイトル	「気候市民会議さっぽろ 2020」での参考人レクチャー
実施日	2020 年 12 月 6 日
場所	(オンライン開催)
対象数	20 人
内容	<p>気候市民会議とは、無作為抽出(くじ引き)で集まった一般の市民が数週間から数ヶ月かけて気候変動対策について話し合う会議のことで、2019 年頃から、フランスや英国など欧州の一部の国で開かれています。</p> <p>2020 年、札幌で「気候市民会議さっぽろ 2020」が、研究者による実行委員会の主催、札幌市や北海道環境財団、RCE 北海道道央圏協議会の協力で、オンライン開催されました。議題は、「札幌市における 2050 年 CO₂排出実質ゼロ」。札幌市の人口構成の縮図となるようにくじ引きで選ばれた 20 人が、11 月 8 日から 12 月 20 日の間、2 週間おきの日曜日に参考人からのレクチャーを聞いたあと、3 つの論点についてグループに分かれて話し合いを行いました。さらに、レクチャーや話し合いをもとに、参加者がそれぞれ、論点の下に設定された「問い」についての優先順位を投票したほか、そうした取り組みを促すのに、効果的な政策や仕組みなどを提案しました。</p> <p>私は、3 回目の 12 月 6 日(日)に、北海道地球温暖化防止活動推進員として、「ライフスタイルの選択を促す『しくみ』や『取り組み』を考える視点」というタイトルで 15 分間の参考人レクチャーを行いました。具体的には、次の 5 項目についての事例紹介です。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 取り組みの成果が現れるまでには、時間がかかる2. デフォルトが変わると、大きく変わる3. 複数の取り組みが、セットで行われることが効果につながる4. 連携5. 取り組みの持つメッセージ・ストーリー <p>みなさんの議論の参考になる情報を選び、時間内に、コンパクトに伝えることは、とても難しかったですが、現在のトレンドを知ることができたり、既知の情報についても更新したりする機会となり、自身にとっても大きな学びの機会となりました。</p> <p>なお、「気候市民会議さっぽろ 2020」の結果は、速報版として公表され、札幌市に提出されました。(札幌市では、2021 年春策定予定で、気候変動対策行動計画を策定中です。)</p> <p>《参考》</p> <p>「気候市民会議さっぽろ 2020」開催趣旨や概要の他、参考人レクチャーの動画を視聴できるほか、配付資料がダウンロードできます。</p> <p>https://citizensassembly.jp/project/ca_kaken</p> <p>「気候市民会議さっぽろ 2020 報告書速報版」</p> <p>http://hdl.handle.net/2115/80247</p>